

2007年度（平成19年度）（第112回）総会・学術評議員会記録

日 時：2007年（平成19年）3月28日（水）12:00~13:30

場 所：大阪国際会議場 10階 1003号室

開会の辞 高田庶務担当理事より本総会は出席者 149名、委任状 1,084通、合計 1,233名で会員総数 2,120名の過半数（1,061名）を上廻り、定款 31条に定められた定足数を超え成立し、学術評議員会は 425名のうち、既に委任状 323通が届いており、出席者をあわせると定款施行細則 9条に定められた定足数 86名（学術評議員数の 1/5）を超え、成立している旨の報告がおこなわれ、開会が宣せられた。

議長選出 高田庶務担当理事より議長として遠山正彌会頭を推薦したい旨、提案があり、承認された。続いて議長より副議長に内山安男教授、書記に森泰丈助教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。

I. 議事録署名人の選任

高田庶務担当理事より議事録署名人として中島裕司大阪市立大教授、松浦忠夫明治鍼灸大教授を推薦したい旨、提案があり承認された。

II. 理事長報告

第 112 回全国学術集会の充実に尽力された遠山会頭、組織委員会ほか関係の方々への謝辞に続き、日本の医学部、医科大学、歯学部、歯科大学を取り巻く環境は厳しいものがあることを指摘し、基礎医学を発展させ、次世代に引き継げるようにするには努力を要することを述べた。具体的には、われわれの目指すところを他の学会員に理解してもらうことが必要であり、この学術集会で実現したように他の学会員の方にも解剖学会に参加してもらうことその他、改組された学術会議に、現場の意見を反映させるための形態科学・細胞生物医科学分科会を立ち上げたことなどを挙げた。学会の運営面では昨年度は科研費補助金が不採択となったが、幸い学会員の諸氏の協力により財政的にも健全な状態にある。学術面では解剖学分野では日本は世界のトップにあり、今後リーダーシップを発揮してゆくことが重要になるが、そのためには会員の諸氏の協力が必要である等の現状、見通しを述べ、残りの 2 日間が盛会となることを祈念するとして、報告を終えた。

III. 報告事項

1. 会員報告

平成 18 年 12 月 31 日現在、正会員 2,090 名、名誉会員 143 名、永年会員 87 名、賛助会員 53 名、団体会員 55 名、海外会員 12 名である旨、報告がおこなわれた。

2. 物故会員

8 名の物故会員の氏名が朗読され、続いて出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新学術評議員紹介

教授就任による新学術評議員 7 名の紹介が資料に基づきおこなわれた。

IV. 審議事項

1. 新永年会員の件

理事会より推薦の7名の候補者につき資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

2. 申請による学術評議員の件

理事会より提案の6名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

3. 平成18年度事業及び業務監査報告の件

①学術集会開催状況 ②会議開催状況 ③内外学術団体との協力ならびに連絡 ④学術誌刊行状況
以上の4件につき資料をもとに説明がおこなわれ、承認された。

⑤委員会報告 1) 解剖組織技術士資格審査委員会(委員長 佐々木順造 岡山大学教授) 2) 解剖体委員会報告(委員長 児玉公道 熊本大学教授) 3) 解剖学用語委員会報告(委員長 坂井建雄 順天堂大学教授) 4) 教育委員会報告(委員長 曾爾 疆 名古屋市立大学教授) 5) 情報技術委員会報告(委員長 辰巳治之 札幌医大教授) 6) 学術委員会報告(委員長 妹尾春樹 秋田大学教授) 7) 倫理委員会報告(委員長 河野邦夫 筑波大学名誉教授) 以上7委員会の平成18年度委員会活動について報告がおこなわれ、承認された。

⑥研究の奨励および業績の奨励 平成18年度奨励賞受賞者(3名)、技術士功労賞受賞者(2名)について資料をもとに報告がおこなわれ、承認された。

⑦技術士認定 1名の1級技術士合格者、2名の2級技術士合格者および現在までの技術士累計について報告がおこなわれ、承認された。

4. 平成18年度決算および会計監査報告の件

平成18年度決算について資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果、承認された。また中河志朗監事による事業・会計の監査報告がおこなわれ、小出将恵公認会計士による監査報告書とともに承認された。

5. 平成19年度予算および事業計画の件

資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果承認された。

6. 平成20年度予算執行の件

平成20年度予算執行に関し、総会開催までの1~3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。

7. 第115回(平成22年度)総会・全国学術集会開催担当校の件

第115回は岩手医科大学に開催を担当して頂くことが承認された。

8. 平成19・20年度役員選任の件

平成19・20年度役員選挙の結果が資料をもとに報告された。また、新理事による互選の結果、理事長として柴田洋三郎九州大学教授、常務理事として牛木辰男新潟大学教授、内山安男大阪大学教授、岡部繁男東京医科歯科大学教授、藤本豊士名古屋大学教授が選任されたこともあわせて報告され、ともに承認された。

V. 第113回日本解剖学会総会・全国学術集會会頭挨拶

標記総会・全国学術集會会頭藤倉義久大分大学教授より平成20年3月27~29日に大分大学医学部で開催する旨の挨拶があった。

閉会の辞 遠山会頭より閉会の辞が述べられ、平成19年度(第112回)総会・学術評議員会が終了した。